

都市計画道路甲府外郭環状道路東区間

環境影響評価書

図表集

平成 24 年 12 月

山 梨 県

図表集 目次

	page		
第4章 都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺の概況（地域特性）	1	19) 図4.2.23 都市計画用途地域図	34
4.1 自然的状況	1	20) 図4.2.24 騒音規制法に基づく自動車騒音規制区域図	35
1) 図4.1.9 大気中のダイオキシン類調査地点位置図	1	21) 図4.2.25 騒音規制法に基づく特定建設作業騒音規制区域図	36
2) 図4.1.11 騒音測定地点位置図	2	22) 図4.2.26 振動規制法に基づく振動規制区域図	37
3) 図4.1.12 振動測定地点位置図	3	23) 図4.2.27 砂防指定地及び急傾斜地崩壊危険区域図	38
4) 図4.1.13 一級河川位置図	4	24) 図4.2.28 産業廃棄物処理場等位置図	39
5) 図4.1.14 水質調査地点位置図	5	第7章 都市計画対象道路事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	40
6) 図4.1.16 公共用水域のダイオキシン類常時監視地点位置図（水質・底質）	6	1) 表7.1.1 環境影響評価を行う項目及びその選定理由	40
7) 図4.1.22 土壌及び地盤の状況図	7	2) 表7.2.1 選定した調査、予測及び評価の手法並びにその理由	42
8) 図4.1.24 地形分類図及び重要な地形	8	第8章 都市計画対象道路事業に係る環境影響評価の結果	63
9) 図4.1.25 表層地質図及び重要な地質	9	8.1 大気質	63
10) 図4.1.26 動物の重要な種の確認位置図	10	1) 図8.1.1(2) 大気質・気象調査位置図	63
11) 図4.1.27 植物の重要な種及び重要な植物群落等の確認位置図	11	2) 図8.1.5 自動車の走行に係る大気質の予測位置図	64
12) 図4.1.28 現存植生図	12	3) 図8.1.15 建設機械の稼動に係る粉じん等の予測位置図	65
13) 図4.1.29 自然環境類型区分図	13	4) 図8.1.18 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る粉じん等の予測位置図	66
14) 図4.1.32 主要な眺望点及び景観資源位置図	14	5) 図8.1.21 建設機械の稼動に係る大気質の予測位置図	67
15) 図4.1.33 人と自然との触れ合いの活動の場位置図	15	6) 図8.1.24 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る大気質の予測位置図	68
4.2 社会的状況	16	8.2 騒音	69
1) 図4.2.5 土地利用現況図	16	1) 図8.2.1 自動車の走行に係る騒音調査位置図	69
2) 図4.2.7 土地利用基本計画図	17	2) 図8.2.4 自動車の走行に係る騒音予測位置図	70
3) 図4.2.8 上水道施設位置図	18	3) 図8.2.7 建設機械の稼動に係る騒音調査位置図	71
4) 図4.2.9 温泉位置図	19	4) 図8.2.12 建設機械の稼動に係る騒音予測位置図	72
5) 図4.2.11 主要な交通網及び交通量観測地点位置図	20	5) 図8.2.13 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音調査位置図	73
6) 図4.2.12 学校教育施設及び図書館分布図	21	6) 図8.2.15 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音予測位置図	74
7) 図4.2.13(1) 病院及び福祉施設等位置図	22	8.3 振動	75
8) 図4.2.13(2) 病院及び福祉施設等位置図	23	1) 図8.3.1 自動車の走行に係る振動調査位置図	75
9) 図4.2.13(3) 病院及び福祉施設等位置図	24	2) 図8.3.3 自動車の走行に係る振動予測位置図	76
10) 図4.2.14 下水道等整備状況図	25	3) 図8.3.5 建設機械の稼動に係る振動調査位置図	77
11) 図4.2.15 水質汚濁に係る河川の類型指定状況	26	4) 図8.3.7 建設機械の稼動に係る振動の予測位置図	78
12) 図4.2.16 騒音に係る環境基準の類型指定位置図	27	5) 図8.3.8 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動調査位置図	79
13) 図4.2.17 自然環境保全地区及び自然記念物位置図	28	6) 図8.3.10 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動予測位置図	80
14) 図4.2.18 鳥獣保護区位置図	29	8.4 低周波音	81
15) 図4.2.19 名勝及び天然記念物位置図	30	1) 図8.4.1 自動車の走行に係る低周波音調査位置図	81
16) 図4.2.20 保安林位置図	31	2) 図8.4.4 自動車の走行に係る低周波音予測位置図	82
17) 図4.2.21 風致地区及び都市緑地位置図	32	8.5 地下水の水位	83
18) 図4.2.22 都市計画公園位置図	33	1) 図8.5.1 地下水位調査位置図	83
		2) 図8.5.2 既存ボーリング調査の地下水位及びN値	84

3) 図 8.5.3(1) 橋梁設置位置図	85	11) 図 8.10.8 予測対象種の確認位置 (典型性: アマガエル)	120
4) 図 8.5.3(2) 橋梁設置位置図	86	12) 図 8.10.9 予測対象種の確認位置 (典型性: モツゴ)	121
5) 図 8.5.3(3) 橋梁設置位置図	87	13) 図 8.10.10 予測対象種の確認位置 (典型性: 止水性トンボ類)	122
8.6 地形及び地質	88	14) 図 8.10.11 予測対象種の確認位置 (典型性: 草地性チョウ類)	123
1) 図 8.6.1 地形調査位置図	88	15) 図 8.10.12 予測対象種の確認位置 (典型性: 抽水植物群落)	124
2) 図 8.6.2 地質調査位置図	89	8.11 景観	125
3) 図 8.6.3 重要な地質体の予測地点位置図	90	1) 図 8.11.1 景観の調査・予測地点位置図	125
8.7 日照障害	91	2) 表 8.11.4(1) 主要な眺望景観 (1.大蔵経寺山)	126
1) 図 8.7.1 道路 (嵩上式) の存在に係る日照障害の調査位置図	91	3) 表 8.11.4(2) 主要な眺望景観 (2.坊ヶ峯)	127
2) 図 8.7.3 道路 (嵩上式) の存在に係る日照障害の予測地点位置図	92	4) 表 8.11.6(1) 日常的な視点場からの景観 (3.甲府市向町の果樹園景観)	128
8.8 動物	93	5) 表 8.11.6(2) 日常的な視点場からの景観 (4.笛吹市石和町砂原(1)の果樹園景観)	129
1) 図 8.8.1 哺乳類調査位置図	93	6) 表 8.11.6(3) 日常的な視点場からの景観 (5.甲府市小曲町(1)の田園景観)	130
2) 図 8.8.2 鳥類調査位置図	94	7) 表 8.11.6(4) 日常的な視点場からの景観 (6.甲府市小曲町(2)の田園景観)	131
3) 図 8.8.3 両生類・爬虫類調査位置図	95	8) 表 8.11.6(5) 日常的な視点場からの景観 (7.甲府市下鍛冶屋町の田園景観)	132
4) 図 8.8.4 魚類調査位置図	96	9) 表 8.11.6(6) 日常的な視点場からの景観 (8.笛吹市石和町東油川の河川景観)	133
5) 図 8.8.5 昆虫類調査位置図	97	10) 表 8.11.6(7) 日常的な視点場からの景観 (9.甲府市白井町の市街地景観)	134
6) 図 8.8.6 底生動物調査位置図	98	11) 表 8.11.6(8) 日常的な視点場からの景観 (10.笛吹市石和町砂原(2)の果樹園景観)	135
7) 図 8.8.7 哺乳類重要種確認位置図	99	12) 表 8.11.6(9) 日常的な視点場からの景観 (11.笛吹市石和町唐柏の市街地・果樹園景観)	136
8) 図 8.8.8 鳥類重要種確認位置図	100	8.12 人と自然との触れ合いの活動の場	137
9) 図 8.8.9 両生・爬虫類重要種確認位置図	101	1) 図 8.12.1 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査・予測地点位置図	137
10) 図 8.8.10 魚類重要種確認位置図	102	2) 表 8.12.4(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果 (1.笛吹川サイクリングロード)	138
11) 図 8.8.11 昆虫類重要種確認位置図	103	3) 表 8.12.4(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果 (2.荒川サイクリングロード)	139
8.9 植物	104	4) 表 8.12.4(3) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果 (3.小瀬スポーツ公園)	140
1) 図 8.9.1 植物相調査 調査ルートを含む範囲図	104	第9章 都市計画対象道路事業に係る環境影響の総合的な評価	141
2) 図 8.9.2 植生調査地点図	105	1) 表 9.1.1 環境影響評価結果の総合的な評価	141
3) 図 8.9.3(1) 現存植生図	106		
4) 図 8.9.3(2) 現存植生図	107		
5) 図 8.9.3(3) 現存植生図	108		
6) 図 8.9.4 重要な植物の確認位置図	109		
8.10 生態系	110		
1) 図 8.10.2 生息・生育基盤図	110		
2) 図 8.10.3(1) 地域を特徴づける生態系区分図	111		
3) 図 8.10.3(2) 地域を特徴づける生態系区分図 (林縁生態系)	112		
4) 図 8.10.3(3) 地域を特徴づける生態系区分図 (河川・水田生態系)	113		
5) 図 8.10.3(4) 地域を特徴づける生態系区分図 (農耕地生態系)	114		
6) 図 8.10.3(5) 地域を特徴づける生態系区分図 (市街地生態系)	115		
7) 図 8.10.4 予測対象種の確認位置 (上位種: タヌキ)	116		
8) 図 8.10.5 予測対象種の確認位置 (上位種: チョウゲンボウ)	117		
9) 図 8.10.6 予測対象種の確認位置 (上位種: カワセミ)	118		
10) 図 8.10.7 予測対象種の確認位置 (典型性: シギ・チドリ類)	119		

「本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図及び5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平24情複、第565号)

第4章 都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺の概況（地域特性）

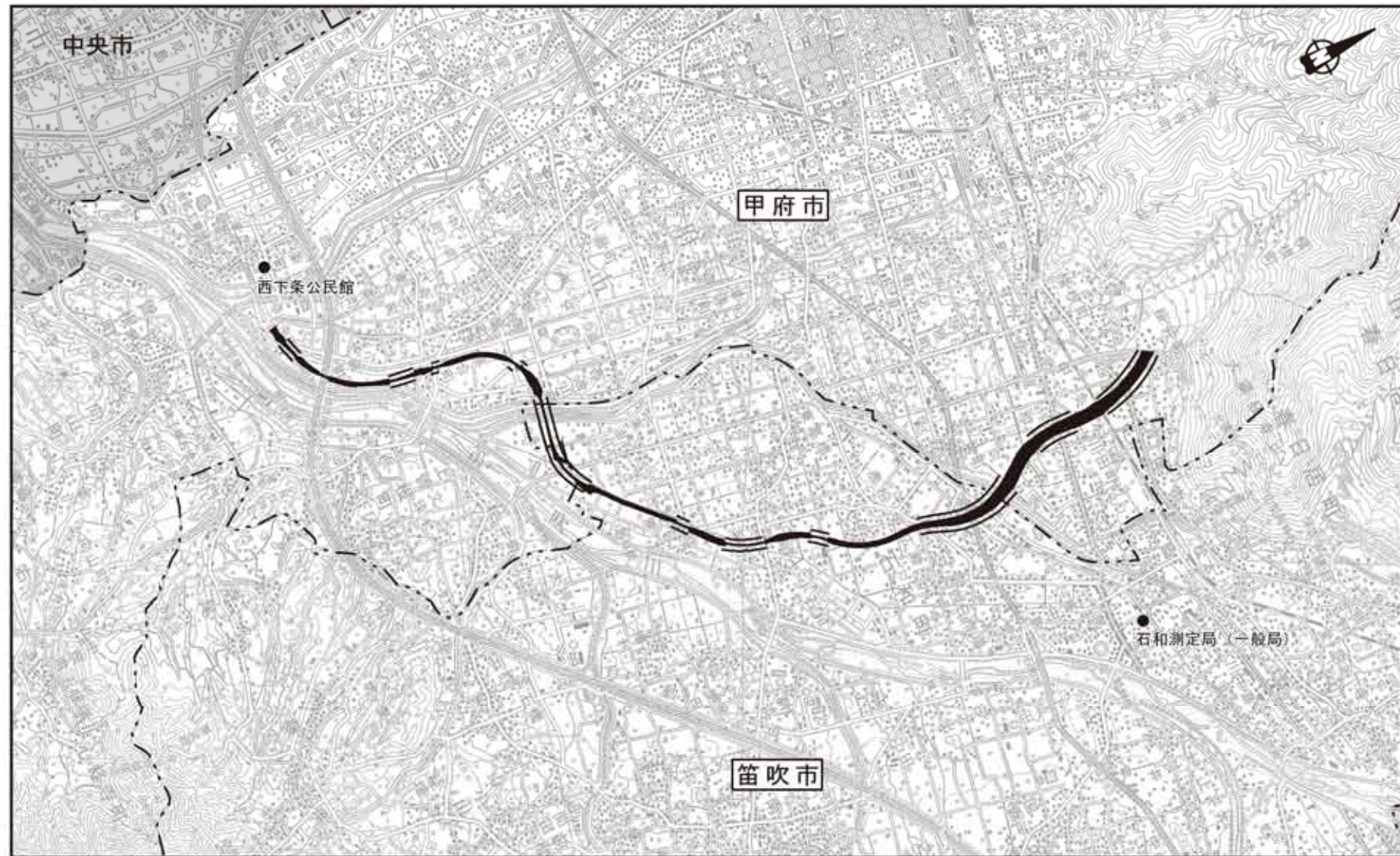
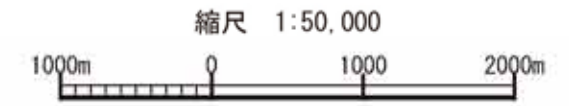



図 番	図4.1.9
図 名	大気中のダイオキシン類調査地点 位置図



出典：「平成22年度版 やまなしの環境2010」
(山梨県森林環境部森林環境総務課)

凡 例	
記 号	名 称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
●	大気中のダイオキシン類調査地点

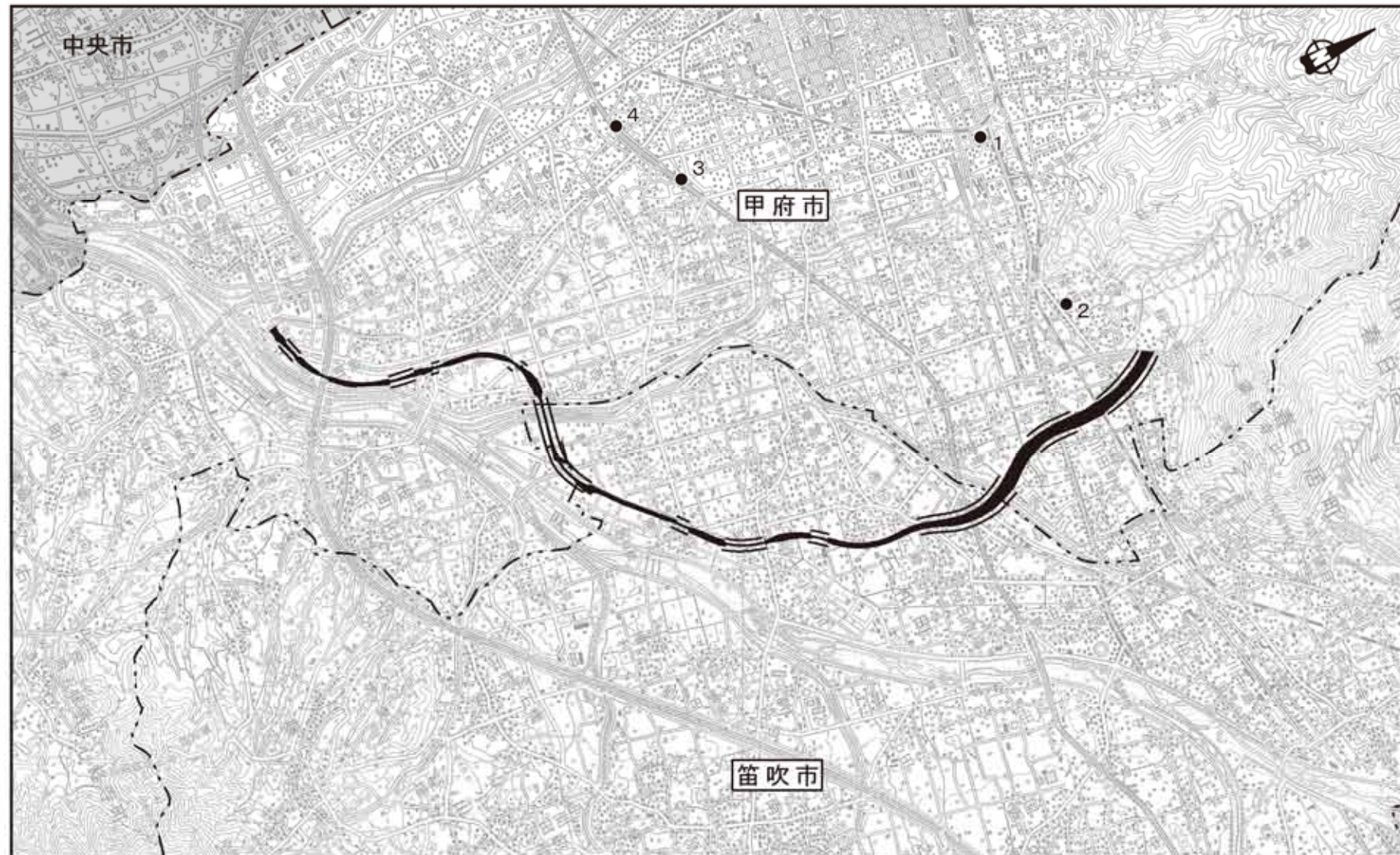
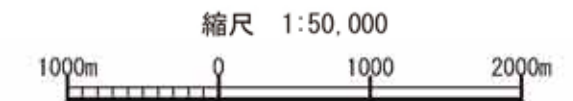


図 番	図4.1.11
図 名	騒音測定地点位置図



出典：「平成17年度 やまなしの環境2005」
 (平成17年12月 山梨県森林環境部森林環境総務課)
 「平成17年度道路環境センサステータ一覧表」
 (国土交通省甲府河川国道事務所)

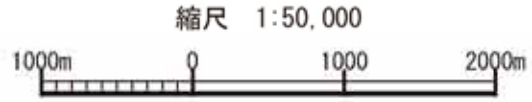
騒音測定地点 一覧

1 : 甲府市善光寺 1-19-18 (一般国道411号)
2 : 甲府市横根町658 (主要地方道甲府葦崎線)
3 : 甲府市住吉 5-2 (一般国道20号)
4 : 甲府市中小河原町 (一般国道20号)

凡 例	
記 号	名 称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
●	測定地点



図 番	図4. 1. 12
図 名	振動測定地点位置図

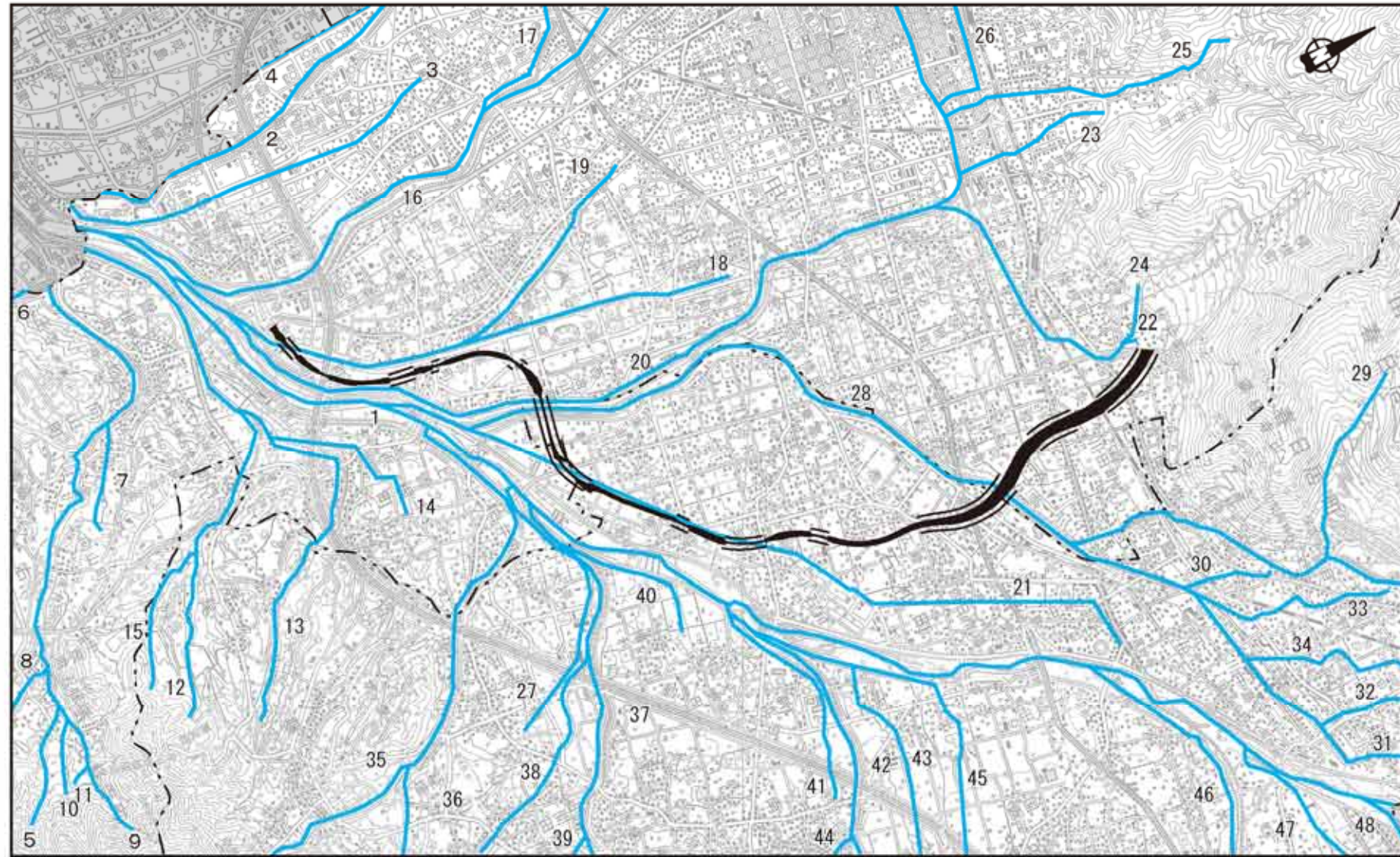


出典：「データでみる統計 平成17年版」
 (甲府市総務部総務総室総務課統計係)

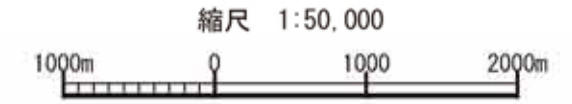
振動測定地点 一覧

1 : 甲府市善光寺 1-19-18 (一般国道411号)
2 : 甲府市横根町658 (主要地方道甲府葦崎線)

凡 例	
記 号	名 称
----	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
●	測定地点



図番	図4.1.13
図名	一級河川位置図



出典：「山梨県中北建設事務所管内図（2-1）」
 （平成21年 山梨県）
 「河川表」
 （平成5年4月 山梨県土木部河川課）

一級河川 一覧

1：笛吹川	13：芋沢川	25：高倉川	37：浅川
2：鎌田川	14：大堀川	26：藤川	38：狐川
3：流川	15：蟹沢川	27：鎌田川	39：竜安寺川
4：洪川	16：荒川	28：平等川	40：新堀川
5：滝戸川	17：四分川	29：山沢川	41：藤沢川
6：七覚川	18：蛭沢川	30：第二平等川	42：天川
7：稲川	19：五割川	31：金比羅川	43：上手川
8：西川	20：濁川	32：西川	44：堀川
9：心経寺川	21：洪川	33：駒沢川	45：馬場川
10：不動河原川	22：十郎川	34：鳳山川	46：金川
11：草里川	23：大円川	35：境川	47：下田川
12：間門川	24：大山沢川	36：蛇山川	48：日川

凡 例	
記号	名称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
	一級河川

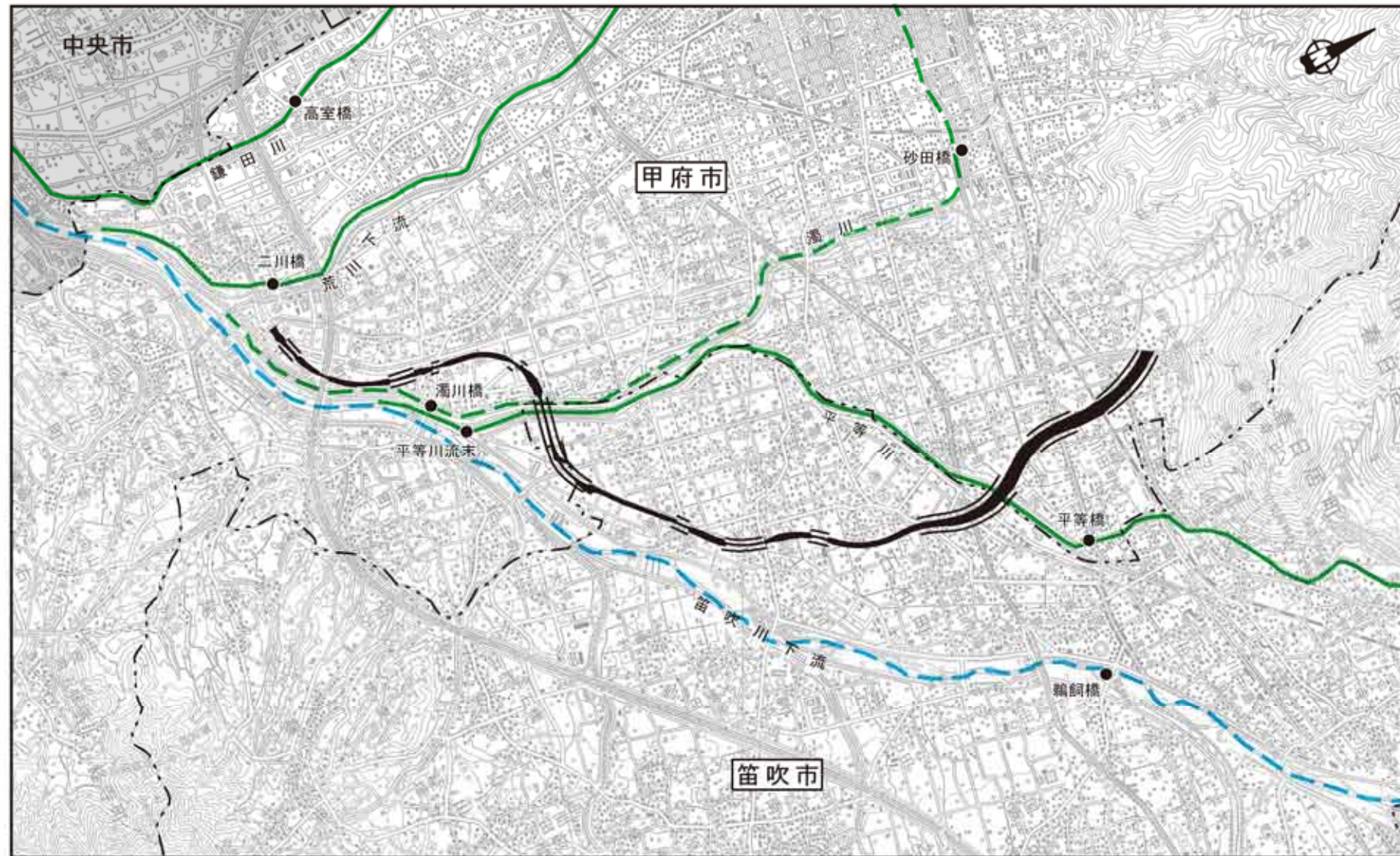
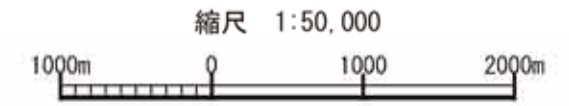


図 番	図4. 1. 14
図 名	水質調査地点位置図



出典：「公共用水域及び地下水の水質測定結果（常時監視）」
（山梨県森林環境部大気水質保全課）

凡 例	
記 号	名 称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
	A 類型
	B 類型
	C 類型
●	測定点

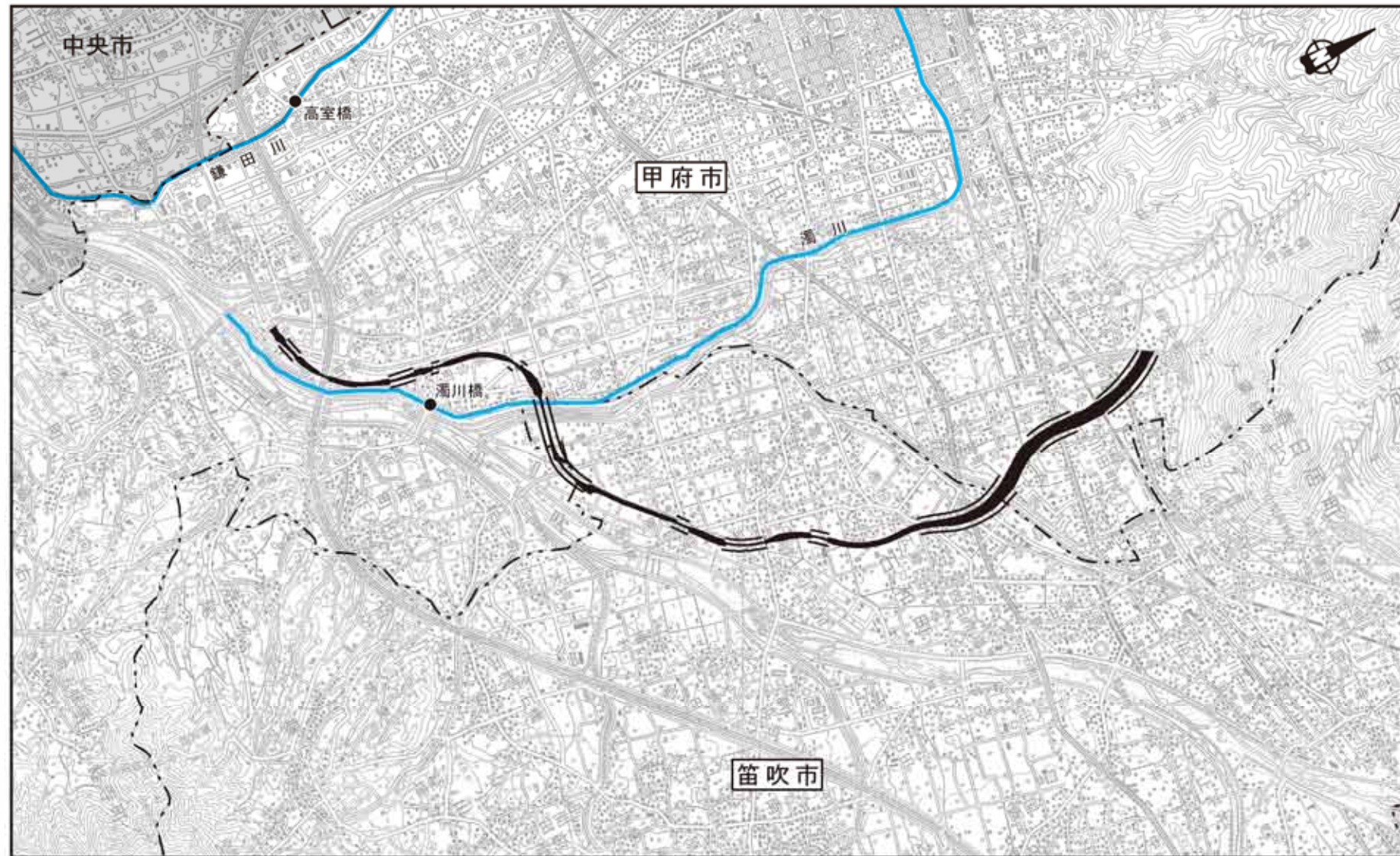
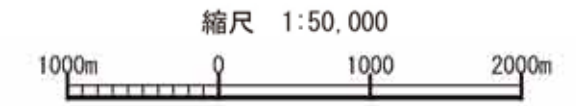


図 番	図4. 1. 16
図 名	公共用水域の ダイオキシン類常時監視地点位置図 (水質・底質)



出典：「平成22年度 やまなしの環境2010」
(平成23年2月 山梨県森林環境部森林環境総務課)

凡 例	
記 号	名 称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
	調査対象河川
●	監視地点

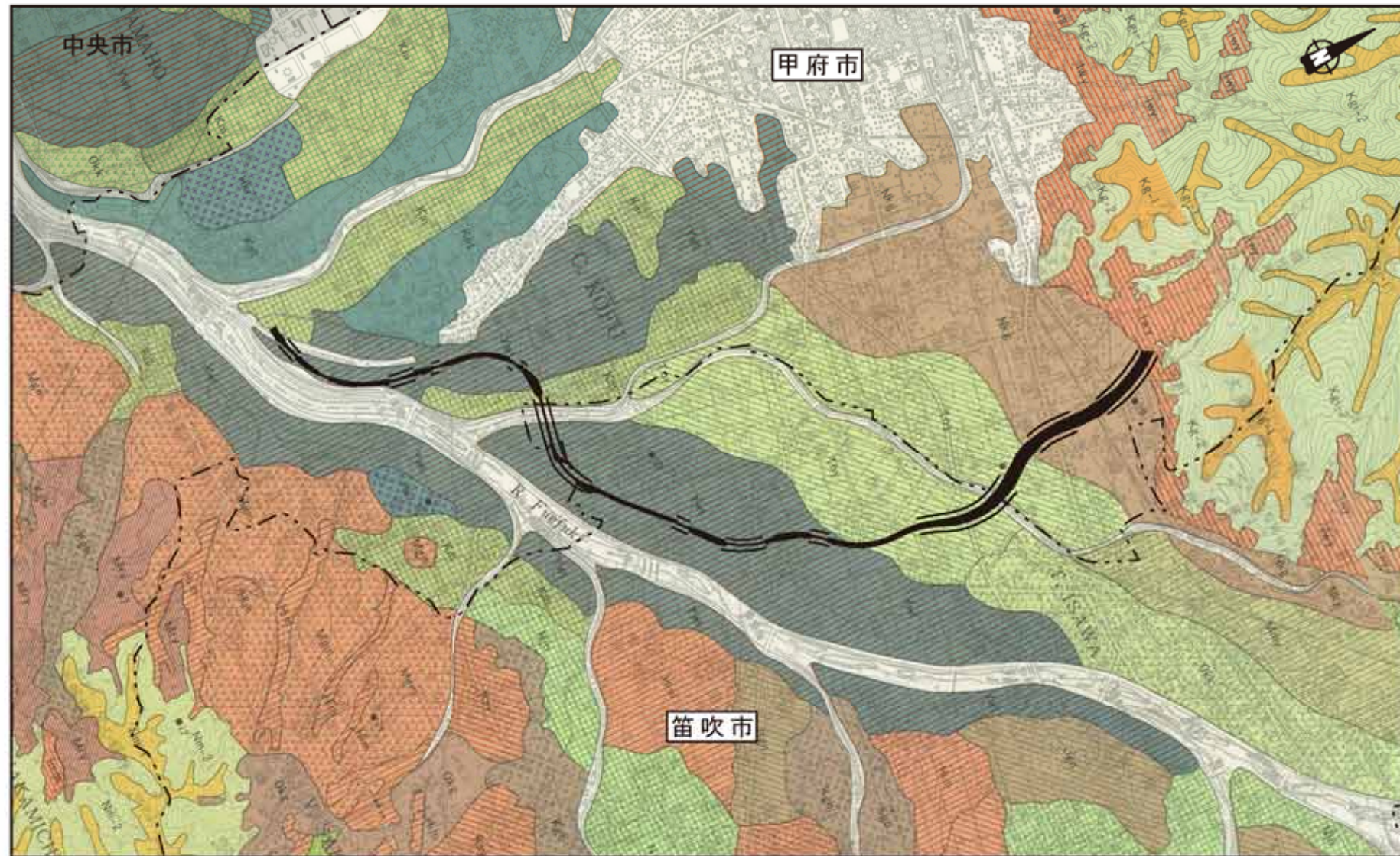
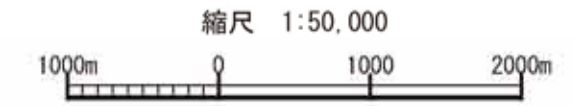


図 番	図4. 1. 22
図 名	土壌及び地盤の状況図



出典：「土地分類基本調査 土壌図（甲府）」
 (1984年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)
 「土地分類基本調査 土壌図（御岳昇仙峡）」
 (1985年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)

土壌及び地盤の状況図 凡例

記 号	名 称	記 号	名 称	記 号	名 称	記 号	名 称
山地および丘陵地の土壌				台地および低地の土壌			
乾性褐色森林土壌		黒ボク土壌		最上統		灰色低地土壌	
Nm-1	中道 1 統	Dk _g	大川口統	Mg ₁₀	泉南統	Km	加茂統
Kg-1	春日居 1 統 (甲府)	多湿黒ボク土壌		褐色低地土壌		Mry	間宮統
Kgi-1	春日居 1 統 (御岳昇仙峡)	Kd _g	越路原統	h _g	中島統 (甲府)	細粒グライ土壌	
褐色森林土壌		淡色黒ボク土壌		Nk ₁	中島統 (御岳昇仙峡)	HR ₁₀	保倉統
Ma-2	御坂 2 統	Mry	丸山統	Ogr	荻野統	Kot	琴浜統
Nm-2	中道 2 統	褐色森林土壌		粗粒灰色低地土壌		粗粒グライ土壌	
Kg-2	春日居 2 統 (甲府)	lwy	岩屋統	Dkk	追子野木統	Yw	八幡統
Kgi-2	春日居 2 統 (御岳昇仙峡)	Hm	氷見統	Nip	二条統	その他	
		Koy	笠山統	Toy	豊中統	•	試坑点位置及び番号

凡 例	
記 号	名 称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
•	試坑点位置及び番号

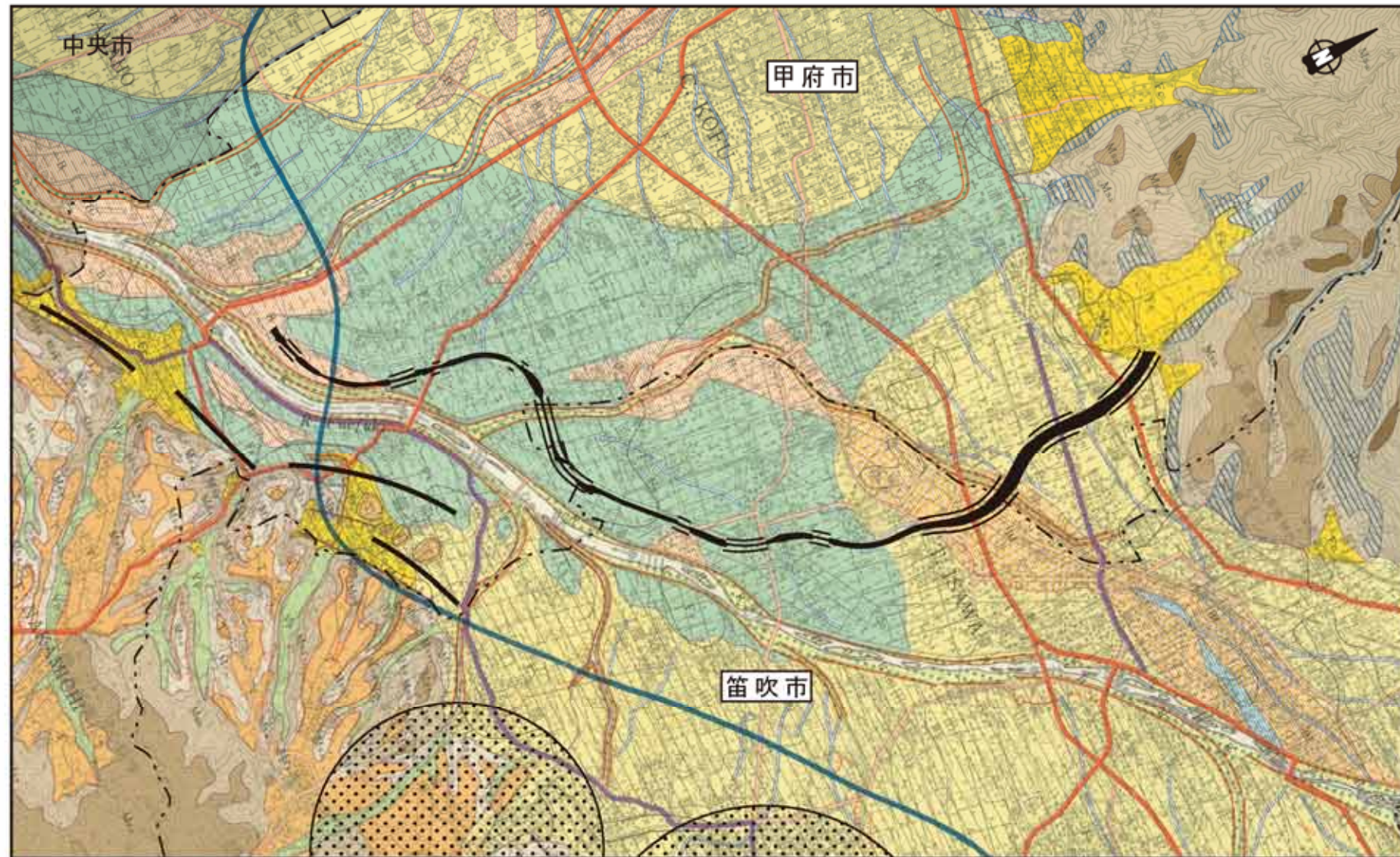
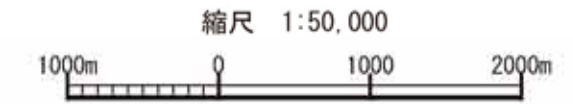


図 番	図4. 1. 24
図 名	地形分類図及び重要な地形



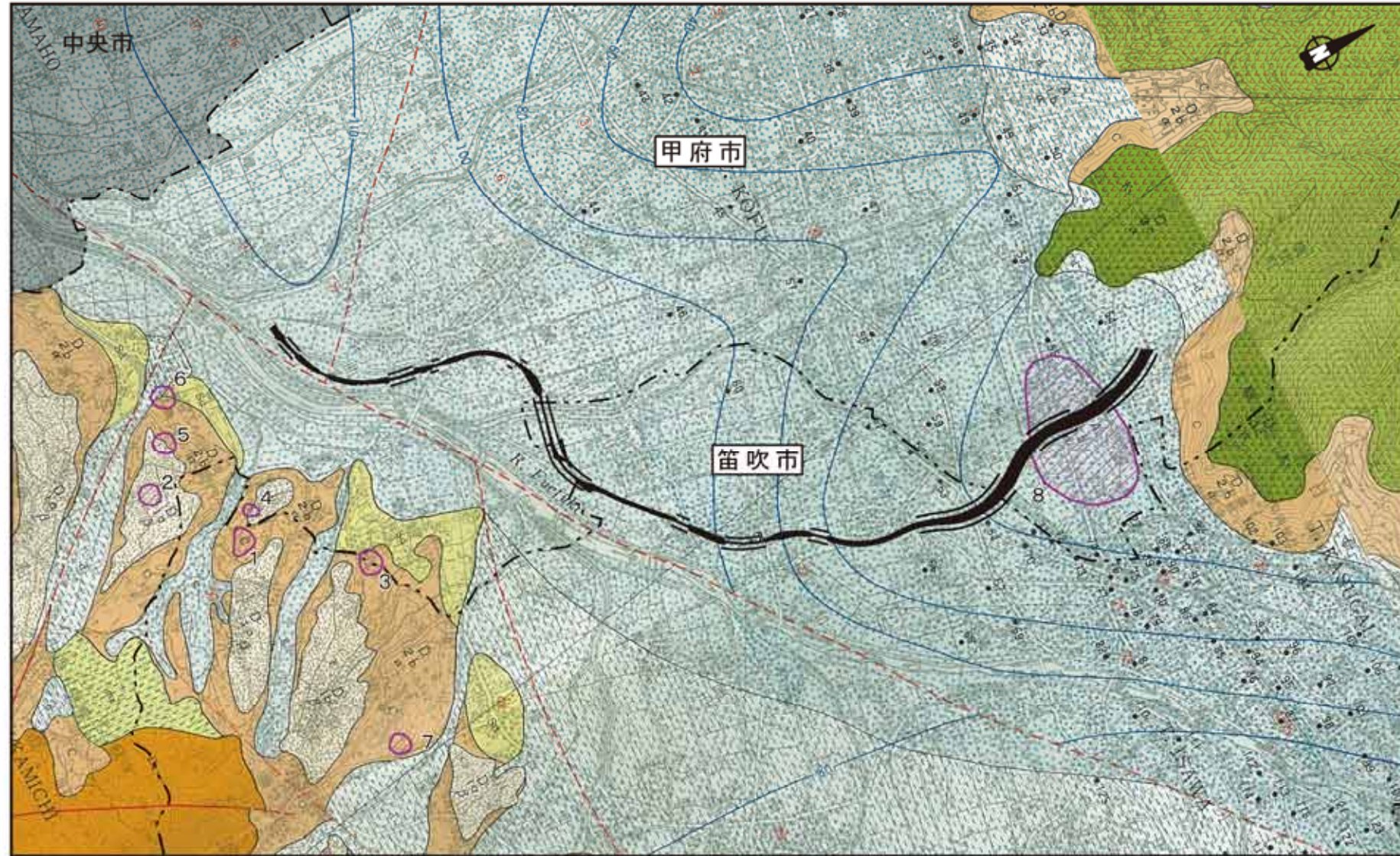
出典：「土地分類基本調査 地形分類図（甲府）」
 (1984年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)
 「土地分類基本調査 地形分類図（御岳昇仙峡）」
 (1985年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)
 「日本の地形レッドデータブック
 第1集 新装版 -危機にある地形-」
 (2000年12月 小泉武栄, 青木賢人)
 「日本の地形レッドデータブック
 第2集 -保存すべき地形-」
 (2002年3月 小泉武栄, 青木賢人)

注) 「曾根丘陵の断層地形」に関しては、出典に分布位置が示されていないため記載していない。

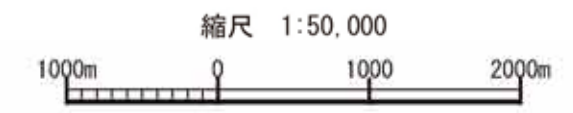
地形分類図 凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称
火山地		台地・低地			崖、比高50~100m
	火山斜面>40°		低地8° ~3°		崖、比高10~50m
	火山斜面>30° ~40°		低地3° ~1/2°		崖、比高10m以下
	火山斜面>15° ~30°		低地1/2° ~1/4°	その他	
	火山斜面>15°		砂礫台地		人工平坦地
	火砕流地		扇状地		活断層、顕著なリニアメント
山地・丘陵地斜面			開折扇状地		堤防
	山地斜面>40°		小扇状地		主要分水界
	山地斜面>30° ~40°		開折小扇状地		地形界
	山地斜面>15° ~30°		旧中州、ポイントパー		高速自動車
	山地斜面>15°		旧流路		国道
	山頂および山稜平坦面、顕著な凸形斜面		谷底平野		主要地方道
	顕著な凹形斜面		古期土石流斜面		県道
	崩壊地		現河床		

凡例	
記号	名称
	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
	曾根丘陵の新时期断層変位地形
	一宮町周辺の扇状地群



図番	図4.1.25
図名	表層地質図及び重要な地質



出典：「土地分類基本調査 表層地質図（甲府）」
 (1984年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)
 「土地分類基本調査 表層地質図（御岳昇仙峡）」
 (1985年3月 山梨県企画管理局土地水対策課)
 「山梨県天然記念物緊急調査報告書 ー地質・鉱物ー」
 (平成8年 山梨県教育委員会)

凡例	
記号	名称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
	重要な地質

表層地質図 凡例

未固堆積物	砂礫質沖積層	勝山第五熔岩流	新層および推定断層	1 数	岩体のかたさ
	砂礫質沖積層・扇状地堆積物	勝山第三熔岩流	新層(予想)	2 中	
半固結堆積物	泥炭堆積物・土石流堆積物(笛吹川層群)	四尾蓮火山噴出物	地層の境界(整合)	3 硬	岩片のかたさ
	洪積堆積物(曾根層群-シルト・砂礫・火山砕屑物)	甲府火山噴出物	走向と傾斜	4 数	
	ローム層	斑輝岩	柱状断面図位置および番号	5 中	風土状況
固結岩類	石英安山岩質熔岩・同質火山砕屑岩	石炭閃緑岩	地下水面等高線(単位m)	6 硬	
	泥岩・砂岩・玄武岩質熔岩・同質火山砕屑岩およびホルンフェルス	花崗閃緑岩	断面位置図	7 深い風化	風土状況
	玄武岩質熔岩・同質火山砕屑岩およびホルンフェルス	石英閃緑岩	温泉位置および番号	8 中程度風化	
	千枚岩・硬質砂岩およびホルンフェルス	石英閃緑岩~閃緑岩	1. 新面位置図	9 深い風化	地質時代
			2. 温泉位置および番号	A 沖積世	
				D 洪積世	
				Tn 新第三紀	
				Tp 古第三紀	

重要な地質 一覧

- 1: 日向林の佐久シルト層
- 2: 佐久シルト層、堆積構造が見られ、ヒシの実の化石の産出する露頭
- 3: 佐久シルト層および植物化石等が観察可能な沢
- 4: 曾根層群の層序及び地質構造を知ることができる露頭
- 5: 曾根丘陵層序及び曾根層群の地質構造を知る露頭
- 6: 佐久活断層
- 7: 藤堂活断層群
- 8: 甲府盆地地下の始良Tn火山灰(AT)層

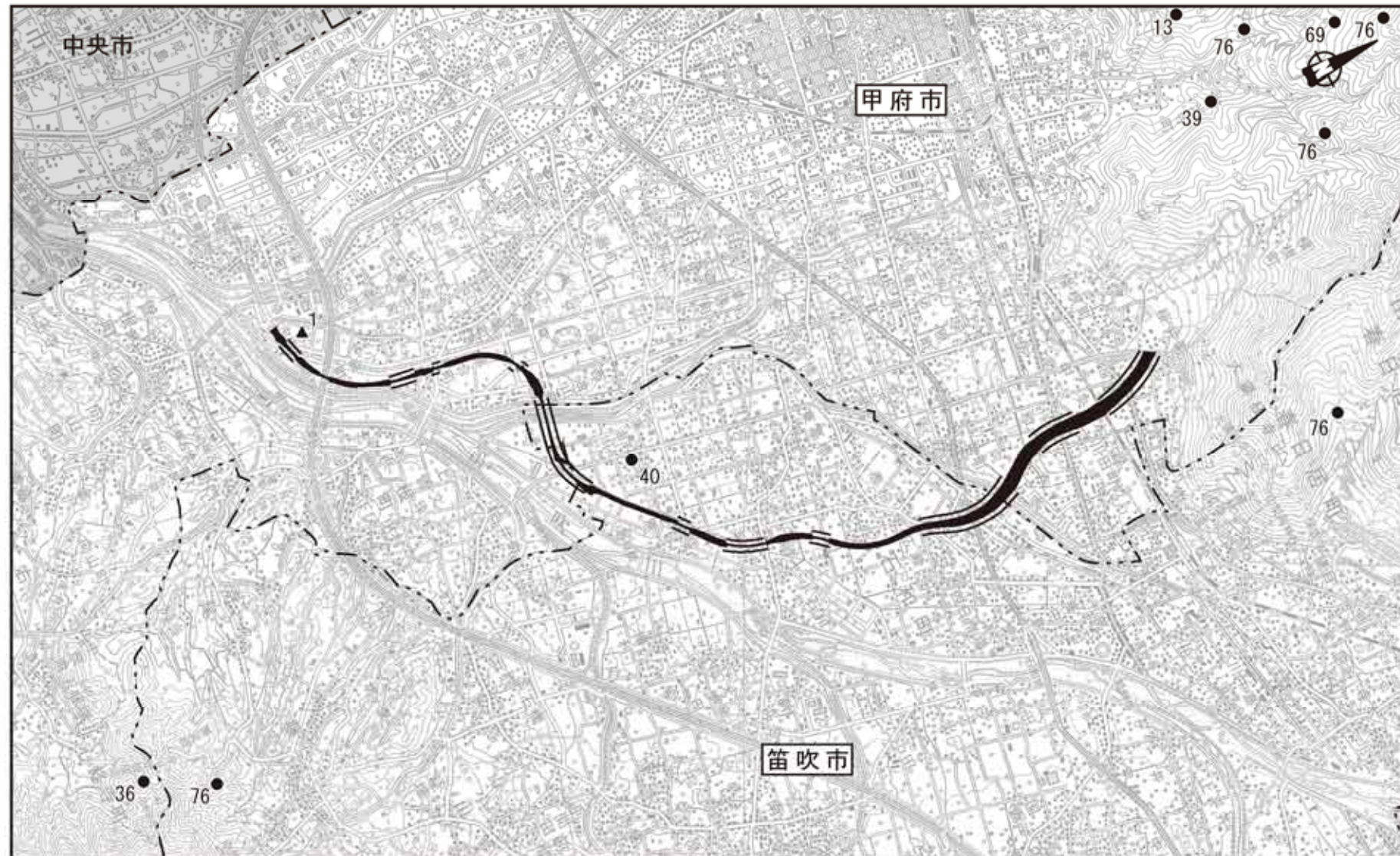
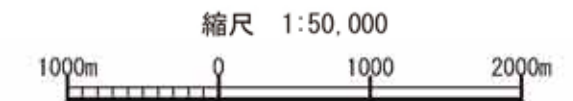


図 番	図4. 1. 26
図 名	動物の重要な種の確認位置図



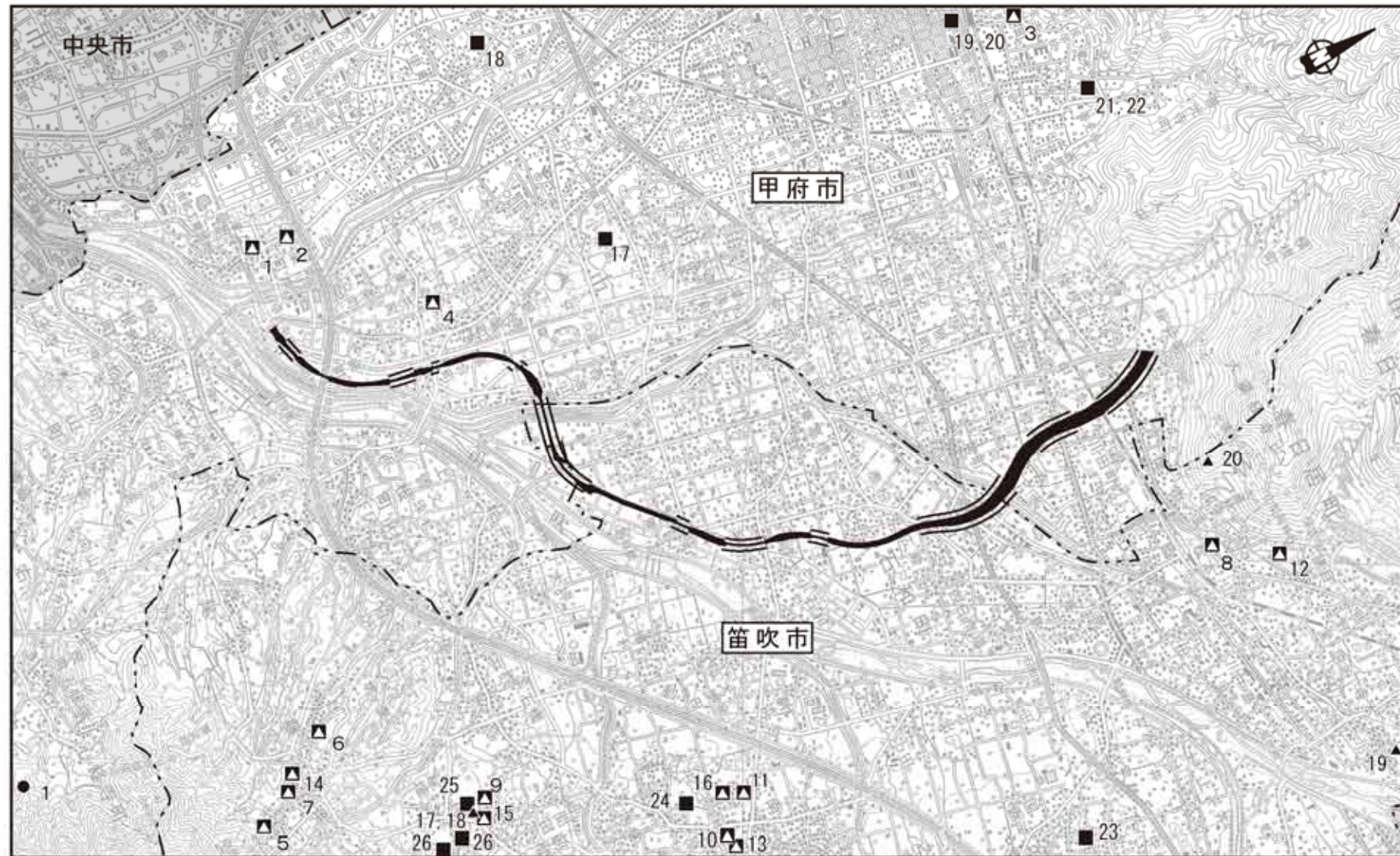
出典：「天然記念物緊急調査」（昭和47年 文化庁）
「第2回自然環境保全基礎調査」（昭和56年 環境庁）

- 注1) 重要な種の選定基準とした文献等から位置が把握できたのは鳥類と昆虫類のみである。
注2) その他シギ類とは「ヤマシギ、イソシギ、タマシギ等」を示す。
注3) 図中の番号のうち、昆虫類は表 4. 1. 32に準拠した。

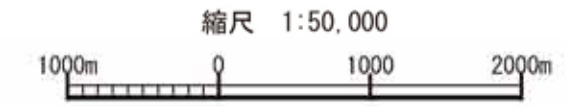
動物の重要な種 一覧

鳥類	昆虫類
1: その他シギ類	13: ハルゼミ
	36: キボシカミキリ
	39: クロスズメバチ
	40: マメコバチ
	69: ウラキンシジミ
	76: オオムラサキ

凡 例	
記 号	名 称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
▲	重要な鳥類
●	重要な昆虫類



図番	図4.1.27
図名	植物の重要な種及び重要な植物群落等の確認位置図



出典：「第2回自然環境保全基礎調査」(昭和56年 環境庁)
「第3回自然環境保全基礎調査」(平成元年 環境庁)
「第4回自然環境保全基礎調査」(平成7年 環境庁)

天然記念物
「甲府市内の文化財一覧」
(平成21年12月 甲府市教育部生涯教育振興室文化振興課)
「笛吹市文化財ガイドマップ」
(笛吹市教育委員会社会教育課)

巨樹・巨木
「山梨県巨木誌」(平成4年 山梨県植物研究会)

植物の重要な種及び重要な植物群落等 一覧

重要な植物群落	天然記念物	巨樹・巨木
1: 滝戸山のシラカシ林	1: 慈恩寺のフジ	1: 慈恩寺のフジ
	2: 西下条のシダレイチョウ	2: 西下条のシダレイチョウ
	3: 東光寺町稲荷神社のサカキ	3: 東光寺町稲荷神社のサカキ
	4: 下今井のヒイラギ	4: 下今井のヒイラギ
	5: 智光寺のカヤ	5: 智光寺のカヤ
	6: 宗源寺のヒダリマキカヤ	6: 宗源寺のヒダリマキカヤ
	7: 藤堂のヤツブサウメ	7: 藤堂のヤツブサウメ
	8: このてがしわ	8: このてがしわ
	9: 小山神主のキンモクセイ	9: 小山神主のキンモクセイ
	10: 定林寺のカヤ	10: 定林寺のカヤ
	11: 荒神堂のケヤキ*	11: 荒神堂のケヤキ(*)
	12: 山梨岡神社のフジ	12: 山梨岡神社のフジ
	13: 二子塚のサワラ	13: 二子塚のサワラ
	14: 藤堂のナシ	14: 藤堂のナシ
	15: 小山のタラヨウ	15: 小山のタラヨウ
	16: 郷土館敷地内の庭木群	16: 郷土館敷地内の庭木群
	17: 小山若宮神社の大ナラ	17: 天津司神社のケヤキ
	18: 小山若宮神社のシラカシ	18: 勝善寺のタラヨウ
	19: 長慶寺のコツブガヤ	19: 八幡宮のケヤキ(1)
	20: 櫻群生林	20: 八幡宮のケヤキ(2)
		21: 善光寺のケヤキ(1)
		22: 善光寺のケヤキ(2)
		23: 正法寺のシラカシ
		24: 天神社のケヤキ
		25: 小山のコナラ
		26: 小黒坂砂長家のケヤキ
		27: 小黒坂宇佐美のトチノキ

*荒神堂のケヤキは第4回自然環境保全基礎調査における調査対象種

凡 例	
記号	名称
---	市界
	都市計画対象道路事業実施区域
●	重要な植物群落
▲ △	天然記念物
■	巨樹・巨木